

子宮がん検診を受けられる方へ

子宮がんは、日本人の女性のうち、比較的若い世代に多いがんです。

子宮がん検診を受診することによって子宮がんにかかったり、子宮がんで死亡する確率が減少することが明らかになっています。

子宮がん検診は、2年に1回継続して受けることが大切です。ただし、不正出血などの自覚症状がある場合は、医療機関を受診してください。

【検診の不利益について】

子宮がん検診には限界があり、100%がんを発見できるわけではありません。

がんがあっても「異常なし」と判定されることがあります。(偽陰性)

また、がんがなくても精密検査が必要と判定される場合もあります。(偽陽性)

検診には、このように不利益を生じることがあります。

【検診後の精密検査について】

子宮がん検診の結果が要精密検査だった場合は、コルポ診(拡大鏡)下の組織診や細胞診、HPV検査などを一人一人の状況に応じて組み合わせて実施します。

必ず精密検査を受けてください。

【個人情報の取扱いについて】

豊中市が行うがん検診では、検診の精度管理のため、精密検査が必要になった方の検査結果や治療の受診状況などを市と検診実施機関と精密検査実施機関で共有します。

また、精密検査の受診状況について市からご連絡させていただくことがあります。

ご理解とご協力をお願いいたします。